

登録コード	E2424900	開講年度	2026		
授業科目	ピアノ演奏法				担当教員 中島 卓郎
英文授業名	Seminar of the Piano Performance				副担当
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・2時限
講義室	教育N409	授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考					
信大コンピテンシー	該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ				
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				演奏表現を通して、学校音楽教育における音楽科の特性を捉え、教員としての使命感を持つようになる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				世界の多様なピアノ音楽を文化的背景や時代様式および構造をもとに演奏解釈し、適切な技能の習得とともに表現できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	自己の思いや意図をもって、ピアノ演奏の基礎的技能を習得し、表現する。				
(5)授業計画	講義および個人あるいはグルーブレッスンの形態で展開する。 第1回 個人発表(演奏) 第2回 イメージするということ 第3回 イメージを深化させること 第4回 タッチ 第5回 フィンガリング 第6回 音楽の構造の知覚と感受について 第7回 中間試験(暗譜演奏) 第8回 脱力法 第9回 音色と奏法の関係性について 第10回 フレージング 第11回 アーティキュレーション 第12回 小節と拍節 第13回 アゴーギク 第14回 自己の思いや意図、表現の創意工夫、授業アンケートの実施 定期試験				
(6)成績評価の方法	関心・意欲・態度(10%)，個人内評価(20%)，表現の創意工夫(30%)，表現の技能(20%)、試演会における演奏(20%)を総合して評価する。・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可				
(7)成績評価の基準	演奏表現において、()楽譜に示された音をほぼ再現できており、()知覚・感受をもとに自己の思いや意図をもって展開しており、()表現内容にふさわしい技能を身につけており、()自身の演奏解釈についてある程度言葉で説明ができ、()表現に多様性があり、かつ独自性を有するレベルにあれば「卓越している」。()から()の4項目を満たしていれば「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」。				
(8)事前事後学習の内容	具体的な楽曲において、次回までに解決すべき課題を毎回指摘する。課題の達成度に関しては次の授業で確認する。授業内容を踏まえて十分に準備して授業に臨むこと。				
(9)履修上の注意	事前学習の程度により毎講義・レッスンの内容の質が大きく左右されるので、十分な準備が必要である。				
(10)質問、相談への対応及び連絡先	中島:N409室にて随時。研究室電話番号:026-238-4137 メールアドレス:pf-naka@shinshu-u.ac.jp				
【教科書】	受講者の技量や習得すべき内容に応じて適宜、楽曲を指定する。				
【参考文献】	参考書： H.P.シュミッツ，井本日向二 滝井敬子共訳，『演奏の原理』，シンフォニア，1977 P.ドゥヴァイヨン，村田理夏子訳，『ピアノと仲良くなれるテクニック講座』，音楽之友社，2011				